PART1　以・以為・すなはチ・欲・倒置

一　その他の句法

① **以〜＝〜ヲもつテ【　　や　　を示す】**

(1) 以テス二〜ヲ一。＝〜ヲもつテス。／（〜でする。）

（例）道(みちびク)ニレ之ヲ**以**テス(まつりごとヲ)レ政ヲ。〔之を道くに政を以てす。〕（政治によって人民を導く。）

注　之…ここでは「人民」のこと。

(2) 以テ二〜ヲ一也。＝〜ヲもつテなり。／（〜からである。）

（例）**以**テレ知ルヲレ時ヲ**也**。〔時を知るを以てなり。〕（時勢を見抜く　　　）

② 以為

(1) **以為**（おもヘラク）――ト ＝**おもヘラク――ト**／（――と思う）

(2) **以**（もつテ）**為**（なス）レ[A]ト ＝**もつテAトなス**／（Aと思う・Aとする）

（例）**以為**神（しん）。〔　　　　　　〕（不思議な力を持っている者）

注　神…不思議な力を持っている者。

(3) **以**（もつテ）レ[A]ヲ**為**（なス）レ[B]ト ＝**AヲもつテBトなス**／

AをB
- **にする**
- **と思う**
- **と考える**

（例）趙（てう）王**以**二藺（りん）相（しよう）如（じよ）一**為**二上（じやう）卿（けい）一。

注　藺相如…人名。
上卿…天子・諸侯の臣下の最高位の者。最高の家来。

〔趙王藺相如　　　　　　〕

〔趙王　　藺相如　　　　　　〕

③「すなはチ」の訳し方

＊(1)～(5)の読みは全て「すなはチ」

(1) **則**＝(**もし～たら**)

＊～バ(ハ) 則チ ―― …「**則**」＝**訳さない**

(例) **則**チ践二鋒刃(ほうじん)ヲ一、入レバ二湯火(とうか)ニ一、…　〔則ち鋒刃を践み、湯火に入れば、…〕

(鋭い刃を踏み、熱湯や火中に入ったならば、…)

(2) **即**＝(**すぐに**)

(例) 樹(じゅ)**即**チ応ヘテレ声ニ、…　〔樹即ち声に応へて、…〕　(木は　声に反応して、…)

(3) **便**＝(**すぐに・たやすく・簡単に**)

(例) **便**チ合セテ二財産ヲ一、…　〔便ち財産を合せて、…〕　(すぐに財産を一緒にして、…)

(4) **乃**＝(**そこで・やっと・なんと**)

(例) **乃**チ告グレ之ニ。　〔乃ち之に告ぐ。〕　(やっとこの人に告げた。)

注　之…ここでは「この人」の意味。

(5) **輒＝（そのたびごとに・いつも・すぐに）**

（例）至リテハ二於百姓(ひゃくせい)ノ租税一ニ、動(やや)モスレバ**輒**チ蠲免(けんめん)ス。

注　蠲免…租税を免除する。

〔百姓の租税に至りては、動もすれば輒ち蠲免す。〕

（　　　の租税に至っては、とかく　　　　免除する。）

問一　「病児服レシテ薬ヲ、云ハバレ無レシト効、則不如貧医。」の傍線部をすべて平仮名で書き下しなさい（現代仮名遣いでよい）。

④ **欲**

(1) **欲**N＝N**ヲ**ほっス

(2) **欲**V＝V**ント**ほっス　／ **（～したいと思う・～しようとする）**

（例）欲渡。〔　　　　　　〕（渡ろうとする。）

問二　「必欲使之在尊貴之所」について、（a）返り点のつけ方と書き下し文、（b）その解釈として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

（a）
ア　必 欲レ 使レ 之 在二 尊 貴 之一 所　　必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり
イ　必 欲レ 使三 之 在二 尊 貴 之 所一　　必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す
ウ　必 欲三 使 之 在二 尊 貴 之 所一　　必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す
エ　必 欲三 使レ 之 在二 尊 貴一 之 所　　必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり
オ　必 欲 使三 之 在二 尊 貴一 之 所　　必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん

（b）
ア　必ず教え子を高い地位につかせてやりたいと思う。
イ　必ず教え子を高官のもとに派遣したいと思う。
ウ　必ず教え子を皇帝の役に立つ人物にしたいと思う。
エ　教え子をなんとかして出世させたいと思った結果である。
オ　教え子に正しい教育を施してやりたいと思う理由である。

⑤ 倒置がおこる場合

(1) **否定文**中の**目的語**か**補語**が**代名詞**の場合

(例) **未之**聞。〔未だ之を聞かず。〕（まだこれを聞いていない。）
不汝与。〔汝に与へず。〕（お前に与えない。）

(2) 「詠嘆」の「**A哉、N也。**」の句法

(例) 美**哉**、花**也**。〔美しきかな、花や。〕

(3) **目的語**が**疑問詞**の場合

(例) **何**ヲカ書ク。〔何をか書く。〕（何を書くのか。）

(4) 「**以**」を用いる場合

(例) **以**ツテレ銭ヲ与フ。〔銭を以つて与ふ。〕（お金を与える。）

(5) 「**之**」を用いる場合

(例) 此レヲ**之**レ謂フ。〔此れを之れ謂ふ。〕（これを言う。）

第17講　PART1　確認問題

①「愚以為、宮中之事、…」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　私は～をなしとげる
イ　私を～にしてほしい
ウ　私を～とする
エ　私は～と思う

②「以無用為用。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　無用の用を為す。
イ　無用の用たる。
ウ　以て無用の用を為す。
エ　無用を以て用を為す。
オ　無用を以て用と為す。

③ 「荊軻（けいか）乃逐秦王（しんわう）。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　荊軻乃ち秦王を逐ふ。
イ　荊軻乃て秦王を逐ふ。
ウ　荊軻秦王を逐はせんとす。
エ　荊軻乃に秦王を逐ふべし。

④ 「不ルレ欲セ者ハ<u>便チ</u>去レ。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつも　　イ　そこで　　ウ　すぐに　　エ　やっと　　オ　なんと

⑤ 「必欲使之在尊貴之所。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり。
イ　必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す。
ウ　必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん。
エ　必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す。
オ　必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり。

第17講　PART1　解答

一

① (2)　**【理由や手段を示す】**
〔時勢を見抜く**からである**。〕

② (2)　〔以て神と為す。〕（不思議な力を持っている者**だと思う**。）
(3)　〔趙王藺相如**を以て上卿と為す**。〕（趙王**は**藺相如**を最高の家来だと考える**。）

③ (1)　〔**もし**鋭い刃を踏み、～〕
(2)　〔木は**すぐに**声に反応して、…〕
(5)　〔**人民**の租税に至っては、とかく**いつも**免除する。〕

④ (2)　〔渡らんと欲す。〕

問一　すなわちひんいにしかず。

問二　(a)　イ　　(b)　ア

第17講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 「以為～」は「以為（おも）へらく～と」と書き下し、「～と思う」という意味になる。よって、エが正解。

② 「以A為B」は「Aを以（もっ）てBと為（な）す」の意味。よって、オが正解。

③ 「乃」は「乃（すなは）ち」と書き下す。よって、アが正解。

④ 「便＝すなはチ」の意味は、「すぐに・たやすく・簡単に」である。よって、ウが正解。ア「いつも」の「すなはチ」は「輒」（「すぐに」の意味もある）。イ「そこで」、エ「やっと」、オ「なんと」の「すなはチ」は「乃」である。

⑤ 「欲」の下が、使役の助動詞「使」（しム）なので、「Vんと欲す」という読み方になる。「ん」の上は未然形なので、「～しめんと欲す」。「使」の下に動詞を探すと「在」がある。したがって、「使」と「在」の間の「之」は使役の対象となり、「をして」という送り仮名をおくる。よって、エが正解。

〔解答〕

① エ　② オ　③ ア　④ ウ　⑤ エ